

対象レベル

A1



※「やりとり」は「発表」パートにおいてアイデアを英語にして発信するという力をつけた後、取り組んだ方が効果的です。  
A1下位、上位といった指導案の区切りはつけておりません。

A1、A2下位の回答例は「Speaking 発表」の3、5ページをご覧ください。

A1の特徴

既習のシンプルな定型表現  
(例: “How are you?” “I’m fine, thank you.”/  
“Where are you from?” “I’m from Japan.”)を使って簡単なやりとりができます。

A2下位の特徴

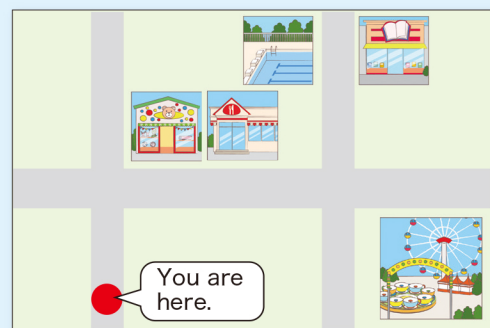
既習の定型表現以外に、単語やフレーズを使って**短く簡単なやりとり**ができます。

準備のための具体例

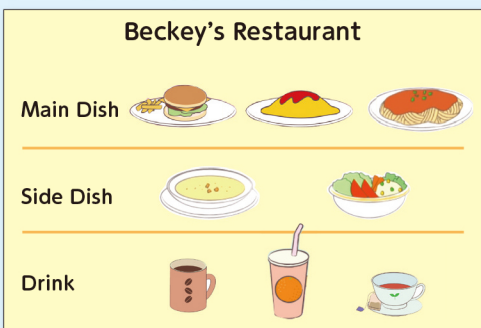
ピクチャーカードを用意する!

簡単な英語の単語とセンテンスで質問ができる場面ものを選んでください。メニューは写真などがついた、見てすぐに内容がわかるようなものを選んでください。

テーマ① 道案内



テーマ② レストランでの注文



テーマ③ お買い物



A1 → A2下位を目指すための指導案

目標

内容がある程度想定できる身近なトピックに関して、単語・フレーズレベルでやりとりを行う



目安時間

20分

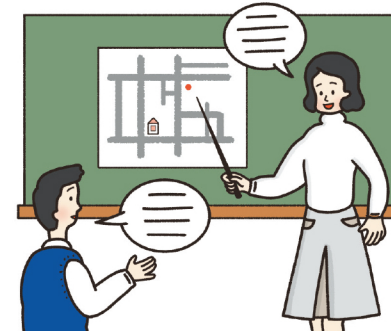
準備物 ピクチャーカード

ステップ

1

(全体)

- 教師はピクチャーカードを見せ(例:道案内)、そこにいることを想像させる。
- できるだけ英語の得意な生徒を1人選んで道順の質問をし、答えさせる。
- 同じことを数名の生徒に1人ずつ行わせる。

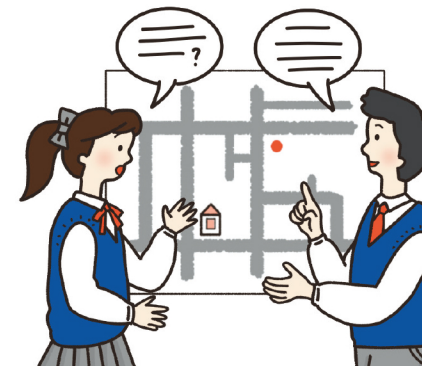


ステップ

2

(ペア)

- 生徒をペアに分け、1人は道を尋ねる役、もう1人は答える役にさせる。
- やりとりをした後、役割を変えさせる。



ステップ

3

(ペア)

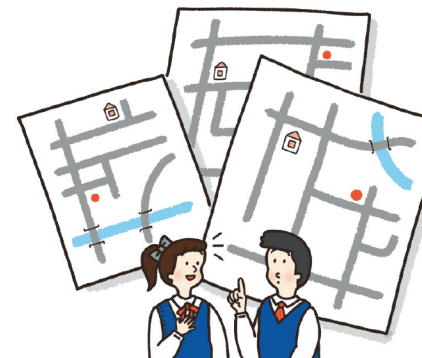
- 異なる地図のピクチャーカードに変え、ステップ2を繰り返す。

ステップ

4

(ペア)

- 違う場面の設定で、ステップ2を繰り返す。



POINT

教師の関わり方: 英語の発話に慣れることが目標であるため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。